

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	944.00	2021/9/20
High	1014.15	2021/9/23
Low	905.00	2021/9/21
Close	987.00	2021/9/24

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	3340.00	2021/9/20
High	3586.00	2021/9/23
Low	3186.00	2021/9/20
Close	3513.00	2021/9/24

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2018.00	2021/9/20
High	2081.00	2021/9/23
Low	1853.00	2021/9/21
Close	1974.00	2021/9/24

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	7126.00	2021/9/20
High	7349.00	2021/9/23
Low	6510.00	2021/9/21
Close	7017.00	2021/9/24



ニュースエクスプレス

シバニエ・スティルウォーター、長期供給契約でPGM価格変動に対応

PGM鉱山及び販売会社シバニエ・スティルウォーターは、今年初めのスポット価格の高騰から現在の下落に見るような価格変動に対し、確実な長期供給契約によって対応しているとしている。

ヨハネスブルグ証券取引所、ニューヨーク証券取引所の両方に上場し、Neal FronemanがCEOを務める同社の販売のほとんどは長期契約になっており、供給側、顧客側双方で安定供給の管理が可能である。

「我々のマーケットポジション、顧客との関係、マーケットの動向分析、そのすべてに大きな変化はなく、それが我々の長期的な展望と戦略の元になっている。」とCOOのRichard Stewartが9月23日に語った。

シバニエ・スティルウォーター社の「PGMs Investor Day」でStewart氏がこう語ったことで、今年初めPGMの供給不足と需要の急増で過去最高の価格高騰を招いた状況と現在の状況の違いが浮き彫りになった。

しかしこの変動は今や逆方向に振れており、有力リサーチ会社数社は毎週のように新たな予測を発表し、一つとして同じ予測ではない状況になっていると語った。

PGMは貴金属の中で他に並ぶものがないくらい最も貴重な金属で、「今、市場で起こっていることを元に将来の長期的な予測を立てる時期ではない」とも語った。

「我々のアプローチは、供給元として商品をあちこちでわずかな利益を出して売るだけではない。我々は顧客の課題解決のために密接に連絡をとってサプライチェーンの重要な一部として機能している。これらのレアメタルの総合的な供給のバランスを調整するだけでなく、PGMバスケットのバランスを保つ努力をしている。」と語った。

https://www.miningweekly.com/article/long-term-supply-contracts-shielding-sibanye-stillwater-from-pgm-price-swing-2021-09-23/rep_id:3650

自動車セクターの生産中断でPGM市場の変化が加速

世界の自動車生産が主に半導体不足のために中断を余儀なくされている中で、ロジウムとパラジウムの需要が予想以上に急減し、PGM市場の変化が加速していると、「LBMA/LPPM Virtual Precious Metals Conference 2021」のパネリストらが語った。

ガソリン車から電気自動車への自動車産業の転換は、排気ガス中の有毒物質を軽減するための触媒として使われてきたロジウムとパラジウム需要にとっては逆風であることは以前から認識されていた。しかし今年の激変はその転換を加速しかねない事態となっているようである。

「消費者がガソリン車から電気自動車に乗り換えれば、パラジウムとロジウムは完全に敗者だ。」とコモディティー投資顧問会社、Ospraie Management LLCの創業者Dwight Andersonが前述のカンファレンスで語った。「パラジウムとロジウムはそのほとんどが自動車触媒に使われるが、通常の自動車生産規模であれば、特にロジウムは、あと2年は供給不足が続くと想定していた。しかし、他の要因による自動車生産の減産など、我々が想定していなかった供給の問題で、パラジウムとロジウム離れが加速されているようだ。」

需要サイドのこのような大きな変化は今年のPGM価格に重大な影響を与えており、自動車産業へのセンチメントが悪化するにつれ、PGM価格は2月、3月の過去最高値から瞬間に下落した。英ジョンソン・マッセイによるとロジウム価格は3月23日に過去最高の2万9800ドル/オンスをつけた後、2020年8月以来最安値の1万2600ドル/オンスにまで下落しているが、それでもコロナ禍以前には1万ドル/オンス以下が普通であったことを考えると、かなりの高止まりとなっている。

このような状況はICBCのメタルズ・セールスのグローバルヘッドであるTom Kendallも指摘しており、複数の産業セクターにまたがるサプライチェーンの同時中断は従来の予測方法では対応できないだろうとしている。

「太陽熱エネルギー、水素製造、エネルギー貯蔵などを語る場合、それらはすなわち銅、ニッケル、PGM、シルバー、そして少しだがゴールドも、そういった金属について語ることそのものだ。」「しかし、サプライチェーンの中断によって、電気自動車の普及といった積極的な予測は完全に不可能になってしまう。」

「ハイブリッドでない電気自動車は2020年に生産された世界の自動車の5%にも満たない。いくら楽観的な電気自動車信奉者であっても、そんな現実では際限なく倍増していくような予測は立てられないと言うものだ。（電気自動車などに）不可欠な原材料のサプライチェーンの問題だけでなく、インフラ整備、再生可能エネルギーの貯蔵など、他にも様々な問題がある。」とKendall氏は語った。

<https://www.argusmedia.com/en/news/2255900-auto-sector-disruptions-accelerating-pgm-market-shifts>

Translated by Kazuko Osawa, JBMA



WPIC直近の活動

- 世界をリードする産業ガスメーカーであるエアリキード社は、水素燃料こそが航空業界の全てにわたって、すなわち陸上にある空港から空を飛ぶ航空機まで、二酸化炭素排出量を2050年までに半減し脱炭素化を可能にする手段だという。2035年までには水素燃料の航空機が民間航路に使われるだろうとも。詳プラチナ豆知識「航空業界の脱炭化」（2021年9月22日）ご覧ください。<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2021/09/22>



@wpijapan